

令和4年度 学校関係者評価表

学校名：名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校

1 学校目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・本学園の建学の精神である、社会から喜ばれる知識と技術を持ち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し、科学技術・文化の発展に貢献する。 ・知識・技術といった学生個々の能力を引き上げると共に、品格とホスピタリティ精神を兼ね備えた魅力ある人材を育成する。 ・「夢をかたちに」を実現する。 			
学校自己評価報告書について			
基準ごとに次の3点について4段階で評価してください	学校が行った自己評価の結果が適切かどうかについて。 4：適切な評価である 3：ほぼ適切な評価である 2：やや不適切な評価である 1：不適切な評価である	学校運営等の改善に向けた実際の取組みが適切であったか。 4：十分適切な取組みである 3：ほぼ適切な取組みである 2：あまり適切とはいえない取組みである 1：適切とはいえない取組み	自己評価の結果を踏まえた今後の改善方針が適切であったか。 4：十分な効果が期待できる 3：ほぼ十分な効果が期待できる 2：あまり効果が期待できない 1：効果は期待できず、改善を要する
基準1（教育理念・目標）	4	3.875	3.75
基準2（学校運営）	4	3.75	3.625
基準3（教育活動）	4	3.875	3.75
基準4（学修成果）	3.75	3.75	3.5
基準5（学生支援）	3.875	3.75	3.625
基準6（教育環境）	4	4	3.75
基準7（学生の受入れ募集）	3.75	3.75	3.5
基準8（財務）	4	3.75	3.75
基準9（法令等の遵守）	4	4	4
基準10（社会貢献・地域貢献）	3.75	3.625	3.625
基準11（国際交流）	3.75	3.5	3.5
今後の改善方針について、お書きください			
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が減少しているとのことでしたが、親子でオープンキャンパスに来ていただけたら、なお、良さが分かっていたと思います。 ・人間力を大切にしているからこそ、母校などへ生徒本人が来校して話ができる機会が増えるというのではないか。 ・学校、先生方にご尽力いただいたおかげで子供たちが楽しい学校生活が送れていると、大変感謝しております。 ・入学増に向け、ターゲットに合わせた施策を打ち手として具体的に考える必要があると思う。 ・具体的には、地の利を生かし、18歳人口が減少していく中で、ダブルスクール等の収入増（入学増）も一つではないか。 ・ブライダル科への男子生徒入学強化をお願いいたします。 ・退学率については、毎年要因特定について努めていただきたいと思います。 ・対外的な活動（10、11）については、引き続き積極的に取り組んでいただきたいです。 ・教員の学会参加、新しい知見の取入れ。 ・魅力的な教材の発掘や開発、独自教材の開発（実習室を使用したコミュニケーションアクティビティ、学生によるドラマ、動画制作プロジェクト等）←学び、及びPR動画にもなる ・社会貢献、地域貢献については各科ごとのプログラムと目標や学生にとっての効果が具体的に表に出来ると良いのではと考えました。 ・国際交流も各科ごとに行けると思いますので、それぞれの科で、学生が主体となれる取り組みがあると、より魅力的な学校になると思います。 			